

幼稚園遊戲

(三)

東京女子高等師範學校教授

戸倉ハル

幼兒體操

服部正作曲

前奏 (八呼間) 靜かに聴く。

一 鳩ポツポ (十六呼間)

下肢の運動

1 兩臂を側に舉げ軽く上下に振りながら膝を軽く屈げて伸す。

2 兩臂を體側につけて直立姿勢になる。以上の運動を更に七回繰返す。

二 首振人形 (十六呼間)

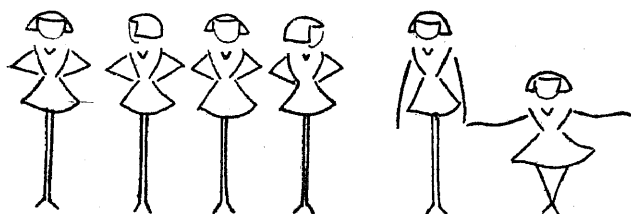
頭の運動

1 臂を腰にさりながら、頭を左に轉す。

2 頭を正面にむける。

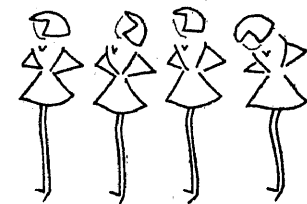
3 頭を右に轉す。

4 頭を正面にむける。



三 キューピーさんの萬歳 (十六呼間)

胸の運動



5、6、7、8 は以上の運動を更に一回繰返す。

1 頭を前に屈げる。

2 頭を起し正面を見る。

3 頭を後に屈げる。

4 頭を起し正面を見る。

5、6、7、8 は以上の運動を更に一回繰返し最後に臂をおろす。

を更に一回繰返し最後に臂をおろす。

1、2 左足を側へ出しなが

ら、五指を開いて兩臂を

斜上へつき上げ、胸を後

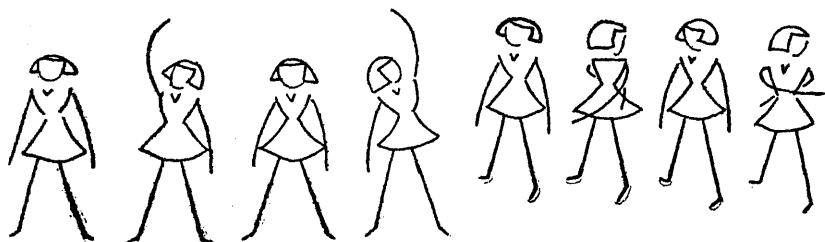
に反らす。

3、4 臂を側から下して體側

につける。以上の運動を

更に三回繰返す。





四 後の正面だーれ(十六呼間)

體側の運動

1 兩臂を左へ振りながら、

體を左へ轉す。

2 兩臂を體側につけて正面

を向く。

3 兩臂を右へ振りながら、

體を右へ轉す。

4 兩臂を體側につけて正面

を向く。

以上の運動を更に三回繰返

す。

五 高い高いお空 (十六呼間)

體側の運動

1 左臂を左斜上にかざし、

上體を右に屈げる。

2 臂を側から下し體側につ

け、體を起す。

3 右臂を右斜上にかざし、

上體を左に屈げる。

4 臂を側から下し體側につ

け、體を起す。

以上の運動を更に三回繰返す。

六 蛙の御挨拶 (十六呼間)

背の運動

1、2 左足を右足に揃へ

ながら、膝を屈げて腰

を下ろし、兩臂を床に

ついて正面を見る。

3、4 臂を體側につけ

て、直立する。

以上の運動を更に三回繰返

す。

七 お手叩き (十六呼間)

跳躍運動

1、2、3、4 左足膝を

屈げ股を前に舉げ、

右足で軽く四回跳び

ながら、拍手を四回

する。

5、6、7、8 右膝を屈

げ、股を前に舉げ左足

で軽く四回跳びながら

拍手を四回する。

以上の運動を更に二回繰

ハト ホッポノ體操

(幼兒體操)

服部正作曲

♩ = 72

① ハトホッポ

Marcia



返す。

八 お靴トントン (十六呼間) 整理運動
臂を前後に振りながら 右足から足踏を十六回元氣に行ふ。

指導上の注意

一、個々の運動は 形式にまはれないで表現動作をして伸び伸びと大きく運動させる。

二、上體の運動(キュービーさんの萬歳 後の正面だれ高い高いお空 蛙の御挨拶)は特にゆつくり運動させて 體の筋骨を充分動かす様にする。従つて伴奏は少し速度を遅くする。

三、レコード(ビクター三〇九二)に合せる時は、間奏八呼間を靜かに聴かせ、リズムに乗つて動く様指導する。

いもむし

田中豐太郎作詞
服部 正作曲

準備 凡十人一組となり一列縦隊に並ばせる。
動作



いも

(一)

先頭は手を腰にさり、他の者は手を前の者の肩にかけて蹲み、左足を前へ出しながら體を左へ屈げる。

四八

むし 右足を前へ出しながら右へ屈げる。
ごろごろへうたんぼつくりこ 以上の動作を六回繰返し前進する。

繰返しの「いもむしごろごろへうたんぼつくりこ」は前の動作に同じく、いもむしの進む様子を現はす。

(二)

ガア 全生立上つて、上體を前にまげ兩手で兩足首を握り、左足を稍々内輪にして前に出す。

ガア 右足を同様にして前に出す。

あひる よちよちひよつこらし

よ 以上の動作を六回

繰返して前進する。

繰返しの「ガアガアあひる

よちよちひよつこらし

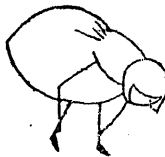
よ」は前の動作に同じ。

(三)

ながいはどちよう 先頭は

臂の力を抜いて體側にさげ體を左へ屈げながら斜左前へランニングステップ八歩で進む。

他の者は手を前の者の



肩にかけ、先頭に續いて前進する。

ニヨロリニヨロリニヨロリ 先頭は體を右へ屈げながら斜右前へランニングステップ八歩で進む。以下の者は先頭に續いて前進する。

繰返しの「長いはごちようニヨロリニヨロリニヨロリ」は前の動作に同じく、ごちようのうねりながらおよく様子を出させる。

もみち

エホンシヤウカ(第二輯)
アキノマキ

ほんのり



左臂を斜上にかざしそれをながめる。

赤い 左臂を下し直立姿勢になる。



もみちの

右臂を斜上にかざしそれをながめる。

は 右臂を下し直立姿勢になる。



もみちのはつばは綺麗だな

兩臂を上へ挙げ手掌をひら〜させながら



ばつと

その場を左に一廻りする。



ひろげた

拍手二回する。

赤ちゃんの

「はつとひろげた」に同じ動作を行ふ。

おてゝの



右足膝を軽くまげ體重をかけ、左足を前に出し踵を床につける。左臂は五指を開いて前に出し、右臂は後に伸す。

やうて

左足を右足に揃へ兩臂を體側にこつて直立姿勢になる。



かはいゝ

左足膝を軽くまげ體重



イモムシ

田中 豊太郎 作 詞
服 部 正 作 曲

The first system of the musical score for 'Imomushi'. It consists of a vocal line and a piano accompaniment. The vocal line is in 2/4 time and features a melody with eighth and sixteenth notes. The piano accompaniment is in 2/4 time and features a steady eighth-note pattern in the right hand and a more complex pattern in the left hand. The lyrics are written below the vocal line.

イ モ ム シ プ ロ プ ロ ム タ ン ボ ッ ク リ コ

The second system of the musical score for 'Imomushi'. It continues the vocal and piano lines from the first system. The lyrics are written below the vocal line.

ガ ア ガ ア ャ ヒ ル ロ チ ロ チ ヒ ャ コ ラ シ ャ

The third system of the musical score for 'Imomushi'. It continues the vocal and piano lines from the previous systems. The lyrics are written below the vocal line.

ナ ガ イ ハ ド ズ ヲ ム ロ リ ニ ム ロ リ ニ ム ロ リ

モミヂ

エホシシツカ第二輯 アキノマキ

First system of musical notation. The vocal line is in treble clef with a key signature of one sharp (F#) and a 2/4 time signature. The lyrics are: モ ノ リ ア カ イ モ ミ デ ノ ハ モ ミ デ ノ. The piano accompaniment consists of a right-hand part in treble clef and a left-hand part in bass clef, both in 2/4 time.

Second system of musical notation. The vocal line continues with the lyrics: バ ッ バ ハ キ レ イ グ ナ バ ッ ト ヒ ロ グ タ. The piano accompaniment continues with the same instrumental parts.

Third system of musical notation. The vocal line continues with the lyrics: マ カ テ シ ノ ナ テ ア ノ ヤ ウ ガ カ ハ イ イ ナ. The piano accompaniment concludes the piece with a final chord in the right hand and a sustained note in the left hand.



をかけ右足を前に出し
踵を床につける。右臂
は五指をひらいて前に
出し左臂は後に伸す。

な 「やうで」三同じく直立姿勢になる。
(つゞく)

幼稚園手技 (三)

及 川 ふ み

幼児の手技は、自由畫として繪を畫き、紙仕事として形を切り、或はぬりゑとして單にぬる事のみに終る單一的のものもあれば、又自由畫として畫いた繪もたゞ心の趣くまゝに畫いたさいふよりは何か一つの目的をもつてかき、それを次の仕事に役立たせる爲に畫き、それを切りさり、貼り合せて一つのものを作り上げる場合もあるのである。又一見して單純なるぬりゑの仕事の如く見えてゐても、ぬりあげたものからは更に仕事がつゞけられて、箱になり、自動車になるさいふ様に單にぬりゑだけに終らないで目的の物を作る爲のぬりゑさいふ事もある。

幼児の手技として本來の目的とするところは、この單一的な前者よりはむしろ二つ三つの仕事の組み合わせはさつて行はれる後者の場合になる事が望ましいのである。單一的なものは要するに後に作り出される數種類組合はさつたものためにむしろ豫備的の段階でもあるのである。

これをもつて具體的に考へて見るに我々の日常の保育案の上に、自由畫、紙仕事、ぬりゑ、何々さいふ個々のものも、おもちゃ製作、動物園ごっこさいふ様に、數種のものゝ組合はさつた所謂製作なるものさがあるわけである。

こんなことから考へて見るに、外のものよりも一層單一